

## 平成24年度特別企画展から

## 「江戸時代のベストセラー・ロングセラー～和本の世界へようこそ～」

文書館では、平成24年10月29日(火)～11月4日(日)の期間、特別企画展「江戸時代のベストセラー・ロングセラー～和本の世界へようこそ～」を開催し、当館が所蔵する和本のなかから新潟県に関係の深い和本、長く読み継がれたベストセラーをご覧いただきました。展示資料から代表的な資料をご紹介します。

## ● 『越後新潟道中膝栗毛』 文政3年刊 (E9111-1083)

十返舎一九著。高崎から三国街道を経て、六日町・小千谷・長岡・与板・西蒲原郡内・新潟町・出雲崎・高田の越後各地から信州への旅を楽しみながら滑稽かつ心に残る話を書きとめたものです。つがいの朱鷺がへびから卵を守る話、牝犬が親なしの五匹の子犬を自分の乳で育てる話、乳飲み子を残して妻に先立たれた男の話などが載せられています。

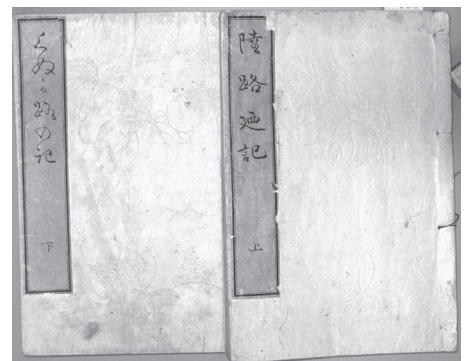


## ● 『仮名読八犬伝』 弘化5-安政5年刊 (F40-836)

2世為永春水ほか著。原作『南総里見八犬伝』を基にしてほぼ仮名文字で書かれています。人気絵師歌川国芳らが挿絵を描きました。犬田小文吾が角付き大会で暴れ出した牛を止める話など、八犬士が越後を訪れたエピソードも掲載されています。これは原作者滝沢馬琴が交流のあった鈴木牧之に影響を受けたためと言われています。

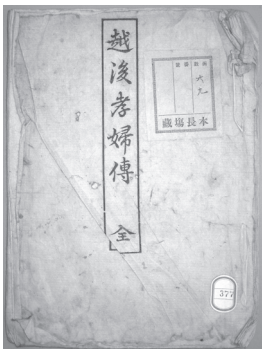
## ● 『陸路廻記』 明治13年刊 (E9903-159ほか)

明治11年の明治天皇北陸巡幸に随行した文学御用掛従六位近藤芳樹の日記です。各地に伝わる古事記の伝承等を紹介しながら感想や反論を述べたり、同行者と一緒に詠んだ和歌を日記にまとめました。9月10日から28日まで来県し、関川から高田・直江津、海岸を寺泊へ、弥彦・赤塚・新潟を経て、新発田から水原や三条・長岡へと進み、再び柏崎から海岸を通り、能生・糸魚川・姫川・親不知・市振から富山県へ入りました。「くぬがち」とは、北陸道を「クヌガノミチ」と呼んだことによります。



## ● 『越後孝婦伝』 安政5年刊 (E9111-377)

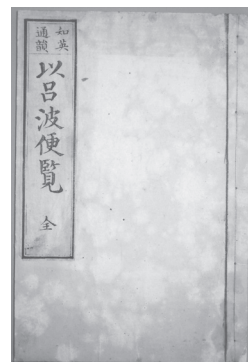
林鳳谷著。尼瀬町(出雲崎町)の大工作太夫の女房(32歳)が、夫の留守中に11歳の女兒と5歳の男児を抱えながら、中風をわずらった79歳の姑に対し、冬は柴を焚いて寒気を防ぎ、夏は木陰に連れて行って涼ませるなど身を尽くして仕えていました。そのことに感じ入った村人が、預所として尼瀬を管理していた長岡藩牧野民部少輔忠周に報告したところ米5俵を賜り、更に幕府からも白銀20枚を賜った顛末が記されています。[初版年：寛保2年]



● 『和英通韻以呂波便覧』 慶応4年刊 (E9903-142)

いろは・数字・方位・時刻・干支などを日本語と英語を合わせて表記した辞書で、「土佐海援隊蔵板」とあります。海援隊（前身は亀山社中）は坂本龍馬が組織した海運・貿易商社です。外国人と接触する機会が多い貿易商社にとって、貿易相手の言葉や文字を学ぶことは何よりも必要なことだったのでしょう。基礎的単語をまとめた海援隊の出版物です。

漢字とひらがなの書体は巻菱湖の書を採用し、アルファベット部分は外国人の書を採用しています。



● 『日本永代蔵 巻2』 近世刊 (E9314-2-149)

井原西鶴が金をめぐる経済生活を取りあげて成功した作品です。実在した人物を実名・仮名で登場させ、虚構をまじえながら、富を得ていく姿をおもしろく描きます。各々の才覚・工夫・思案などを働かせ成功する者、正直・勤勉で成功する者、一方で実直に働きながらもどうしても貧しさから抜け出せない者のほか、金に心を奪われてしまった人間の姿も描かれ、町人たちの失敗談も載せています。

● 『北斎漫画』 近世刊 (E9314-2-133)

葛飾北斎が描いた絵手本です。「漫画」とは「気の向くままに漫然と描いた画」という意味で、人物・風俗・動植物・妖怪変化まであらゆるものを題材として約4000図が描かれ、出版されました。初編が好評であったため、15編まで続編が刊行されています。広く親しまれた大ベストセラーです。

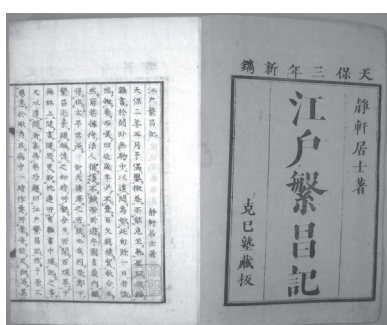
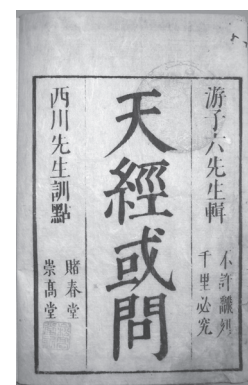


● 『西洋事情』 明治3-6年刊 (F8-2-65~67)

福澤諭吉が文久2年(1862)渡欧したおり見聞したヨーロッパの社会を紹介したものです。内容は社会生活を中心に政治、税制度、紙幣、会社、外交、軍事、科学技術、学校、新聞、文庫、病院、博物館、蒸気機関、ガス灯などを詳述し、多くの人へ「西洋」を紹介する自負にあふれています。

● 『天経或問』 寛政6年刊 (E9903-117-1・2)

明代の末期に游芸（游子六）がイタリア人宣教師から得た西洋天文学の知識と中国の天文学とを融合させて書いた本です。西洋天文学を含む天文学全般及び気象や地理までを問答形式で分かり易く述べた最初の書物で、洪川春海の貞享暦編纂にも影響を与えました。江戸時代を通して天文学の基本的書物として読み継がれました。



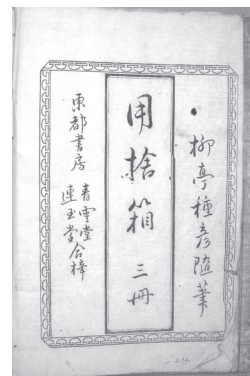
● 『江戸繁昌記』 天保3-6年刊 (E9303-29~33)

寺門静軒が繁栄をつづける大江戸の風俗をつつみかくさず記した漢文戯作です。泰平を謳歌する江戸の姿だけではなく、飢饉や不況、社会不安が隣り合わせている江戸を描きました。相撲・劇場・千人会・浅草寺・両国花火・焼芋・上野・湯屋・髪結床・俠客・永代橋・学校・書舗・寄席・裏店など、名所や江戸人の好む食物・遊戯娯楽・生活習慣などの項目があります。

● 『用捨箱』 天保12年刊 (E0806-351)

江戸時代後期の戯作者柳亭種彦による考証随筆です。柳亭種彦は、文政12年(1829)初版の『偽紫田舎源氏』や『傾城水滸伝』などの合巻作者としても知られています。

『用捨箱』は『還魂紙料』に続く随筆で、昨今の風俗、調度、飲食、俗諺等を考証しています。今にしてはなかなか手に入らない古版本、古俳書等を引用、図版等を添えて誰にも親しみやすいように配慮がしてあります。



特別企画展で展示した主な和本

越後佐渡にかかわる和本	江戸時代のベストセラー・ロングセラー	和本いろいろ～豊かな書物たち～
『越後土産』(元治2年)	『人倫訓蒙図彙』(元禄3年)	『百瀬江戸往来』(文化2年)
『新潟県下越後摘誌』(明治10年)	『和漢三才図会』(正徳5年)	『庭訓往来』(寛政8年)
『吉田松陰東北遊日記』(近代)	『三都役者細見記』(近世)	『商売往来』(嘉永2年)
『新潟花かゝみ』(明治12年)	『吉原細見』(文政2年)	『日新館童子訓』(享和3年)
『北越雪譜』(天保7年)	『増続大広益会玉篇大全』(享保20年)	『新刻蒙求』(寛政2年ほか)
『北越奇談』(文化8年)	『文久武鑑』(文久3年)	『春秋左氏伝』(宝暦5年)
『鄙佐遍豆理』(嘉永3年)	『江戸名所図会』(天保7年)	『唐詩選』(文化10年ほか)
『越後人物志』(弘化2年)	『膝栗毛』(文化7年ほか)	『晴雨考』(嘉永6年)
『甲越勇士鑑』(近世)	『曆象新書』(寛保元年)	『梅花心易掌中指南』(寛延4年)
『佐渡志』(明治22年)	『赤穂浪士四十七士伝』(嘉永4年)	『救荒孫の杖』(天保8年)

「越後佐渡ヒストリア」を文書館ホームページに掲載しています

新潟県立文書館では、ホームページに「越後佐渡ヒストリア」を掲載しています。越後・佐渡の歴史に関する様々なエピソードを、文書館所蔵資料を交えて紹介しています。内容も多岐にわたっており、写真と平易な文章で構成されています。この機会に、実物の資料を見に、ぜひ文書館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



第23話「旧県庁舎に残っていた昭和初期の橋梁写真の謎」

回	タイトル	回	タイトル
第1話	“郵便制度の父”前島密のもう一つの顔	第14話	関東大震災と新潟県の対応
第2話	近代新潟県政のバイオニア・県令 永山盛輝	第15話	大名行列を超える溶姫様のお国入り
第3話	ヒナを守れ！トキ、必死の戦い	第16話	佐渡鉱山のお雇い外国人
第4話	今も昔も変わらぬ、アンチエイジング？	第17話	清く正しく賢く・・・高等女学校の誕生
第5話	めざせ天然記念物！ 戦前のトキ保護活動の記録	第18話	新聞広告の始まり
第6話	気象庁が購入を熱望して止まなかった一眼科医の日記	第19話	幕府から表彰された孝婦ゆりの伝記
第7話	学歴は図書館卒!? 歴史地理学者吉田東伍	第20話	明治初期の新潟県内を描いた『越後摘誌』の世界
第8話	前代未聞の横田切れをうたったくとき唄の最高峰	第21話	「散髪令」と新潟県令～ちょんまげ狩りに執念を燃やした楠本正隆～
第9話	お父さんの帰郷を待つ家族の手紙	第22話	小栗美作が見つめる中江用水と頸城平野
第10話	新潟県、そして日本の近代医学発展の礎でもあった目薬	第23話	旧県庁舎に残っていた昭和初期の橋梁写真の謎
第11話	政治家坂口仁一郎と漢詩人阪口五峰	第24話	越後生まれの妖怪博士!? 井上円了
第12話	沿線住民の夢！ 戦前の鉄道建設物語	第25話	鎧潟・貝喰谷地など蒲原の地に新田開発を熱望した第3のグループ
第13話	江戸時代のクールビズ・越後縮		

## 平成25年度 文書館主催講座のお知らせ（予定）

### ○古文書解読講座：13：30～15：30（2時間）

講座名	期 日	会 場	定員	申込開始日
はじめての古文書講座（夏季）	6月21日・28日（金）	文書館共同研修室	15名	5月31日（金）
はじめての古文書講座（秋季）	10月 4日・11日（金）	文書館共同研修室	15名	9月13日（金）
古文書初級解読講座（夏季）	6月21日・28日（金）	文書館大研修室	60名	5月31日（金）
古文書初級解読講座（秋季）	10月 4日・11日（金）	文書館大研修室	60名	9月13日（金）
古文書中級解読講座（夏季）	7月12日・19日（金）	文書館ホール	180名	6月21日（金）
古文書中級解読講座（秋季）	11月 8日・15日（金）	文書館ホール	180名	10月18日（金）
古文書解読出張講座	9月13日・20日・27日（金）	南魚沼市	60名	8月23日（金）

※はじめての古文書講座と古文書初級解読講座は、同日同時刻の開催となります。

### ○文書館歴史講座：13：30～15：00（1時間30分）又は13：00～15：00（2時間）

講座名	期 日	会 場	定員	申込開始日
第1回文書館歴史講座	5月18日（土）	文書館ホール	180名	4月23日（火）
第2回文書館歴史講座	12月14日（土）	文書館ホール	180名	11月19日（火）
第3回文書館歴史講座	3月 8日（土）	文書館ホール	180名	2月12日（水）

### ○その他の講座

講座名	期 日	会 場	定員	時 間	申込開始日
特別企画展記念講演会	10月26日（土）	文書館ホール	180名	13：30～15：30 （2時間）	9月24日（火）
文書館基礎講座	1月23日・30日 2月6日・13日・20日（木）	文書館ホール	180名	13：30～14：30 （1時間）	1月 7日（火）

## 新潟県立文書館は 学校教育を支援しています

新潟県立文書館は、中学校の職場体験学習や大学生のキャリアインターシップを受け入れています。

また、教員向けの文書館活用講座などを開催して、文書館の資料を授業等で活用する事例についても紹介しています。

新潟県立文書館ホームページ  
<http://www.archives.pref.niigata.jp/>

編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号  
 TEL. 025-284-6011 FAX. 025-284-8737  
 URL. <http://www.archives.pref.niigata.jp/>  
 E-mail: [archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp](mailto:archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp)